

みんなが暮らしやすい Izumi Town を ALT に提案しよう

学校名	石川県金沢市立泉小学校	授業者氏名	鈴木 友紀
対象学年 (人数)	小学校5年生(109名)	実践年月 (時数)	2023年 10月～11月 5 時間(単元全体 10 時間)
担当教科等	英語科		
単元名 (活動名)	Unit5 Where is the post office?～みんなが暮らしやすい Izumi Town を ALT に提案しよう～		
実践する 教科・領域	道徳科、英語科		
学習領域	A 多文化社会 … 文化理解 (○) / 文化交流 () / 多文化共生 (○) B グローバル社会 … 相互依存 () / 情報化 () C 地球的課題 … 人権 () / 環境 (○) / 平和 () / 開発 () D 未来への選択 … 歴史認識 () / 市民意識 () / 社会参加 ()		
単元目標	・ネパールと日本の文化について理解することで、自分たちにできることは何かという視点で両国共通の課題について考えることができる (道徳科) ・両国共通の課題を踏まえた持続可能な街の施設について考えることで、自然を大切にしようという思いをもつことができる (道徳科) ・自分たちの考えた施設を ALT に英語で紹介することができる(英語科)		
単元の 評価規準	知識および技能	・道案内の施設紹介の表現の仕方を理解することができる(英語科)	
	思考力、判断力、 表現力等	・ALT に伝わるように工夫しながら道案内や施設紹介をすることができる (英語科)	
	学びに向かう力、 人間性等	・ALT に伝わるように工夫しながら道案内や施設を紹介しようとしている (英語科)	
	評価の視点	【物事を多面的・多角的にとらえている様子】 ・写真や資料から、ネパールと日本(泉校区)の良さや課題、両国共通の課題に気づき、自分たちのできることは何かという視点で、話し合っている 【道徳的価値についての理解を自分とのかかわりで深めている様子】 ・両国の課題を解消し持続可能な社会や地域を目指していくために、「自分だったら」と自分とのかかわりの中で、環境に配慮し、自然を大切にしようとする思いを深めている (道徳科)	
単元設定の理由・意義 (児童生徒観、指導観、教材観から)	・今暮らしている校区の良さに改めて気づくとともに、校区を含め日本の課題についても考えられる活動を取り入れた。また、さらに視点を広げられるように、ネパール(外国)の良さや課題について知るという学習を取り入れ、日本と比較したり共通点に気づいたりすることができるようにした。 ・日本や世界を知ることにとどまらず、自分たちが暮らす未来に向けて、持続可能な暮らしという観点で、自分たちの暮らしている校区をさらによくするにはどうすればよいかを、具体的な施設を考案することで自分事としてとらえられるようにした。 ・ALT をゲストとして招き、自分たちの校区を案内しながら、新たに考案した施設を紹介するという活動を通して、既習語句と新出表現を組み合わせた英語表現の仕方を学ぶことができるようにした。		

[単元計画（全5時間）]

時	ねらい	学習活動	資料など
1	ネパールと日本の文化の良さについて理解することができる	＜ネパールや日本の良さは？＞ - ネパールの写真から気づく良さを書き出す【フォトランゲージ】 - 各班の模造紙を回して内容を確認する【回し読み】 - 各班ごとに発表する - 校区地図から見える地域の良さを書き出す - 各班ごとに発表する - 両国それぞれの良さをまとめ、ネパールを身近に感じる	1/4 模造紙(各班) - 水性ペン(各班) - ネパール写真(8種類) - 泉校区地図(各班同じ地図)
2	ネパールと日本の文化の課題について理解することができ、両国共通の課題に気づくことができる	＜ネパールや日本の課題は？＞ - ネパールの写真から気づく課題を書き出す【フォトランゲージ】 - 各班の模造紙を回して内容を確認する【回し読み】 - 各班ごとに発表する - 資料から気づく日本の課題を書き出す【ジグソー法】 - 各班ごとに発表する - 両国それぞれの課題をまとめ、両国共通の課題に気づく	1/4 模造紙(各班) - 水性ペン(各班) - ネパール写真(8種類) - 資料「優しい英語でSDGs!」(合同出版)
3 本時	両国共通の「課題」を乗り越えるための取組について知り、自分たちにできることは何かという視点で、課題解決のポイントを整理することができる	＜課題解決のポイントは？＞ - 日本の取組を知る【ジグソー法】 - 各班ごとに発表し、アルビス株式会社に働く人の思いを知る - ネパールの取組を知る【ジグソー法】 - 各班ごとに発表し、ラブグリーンで働く人の思いを知る【エピソードシート】 - みんなが暮らしやすい施設のポイントになりそうなキーワードを整理する【ポップコーン方式】	1/4 模造紙(各班) - 水性ペン(各班) - 資料「環境報告書」(アルビス株式会社HP)(8種類) - 資料「Love Greenの活動」(Love Green Japan HP)(8種類) - エピソードシート
4	両国共通の課題を踏まえた持続可能な街の施設について考えることで、自然を大切にしようという思いをもつことができる	＜ポイントを踏まえた施設を考えよう＞ - グループで考えたい施設を考え、4つまでにしぼる - 各班の施設アイデアを見比べ重ならないように全体で調整する - みんなが暮らしやすい施設を図や言葉で、模造紙にまとめていく - それぞれの班の施設のアイデアや描き方を参考に【ギャラリー方式】 - みんなが暮らしやすい施設を再度班でまとめ完成させる	1/4 模造紙(各班) - 水性ペン(各班) - A4 用紙
5	自分たちの考えた施設をALT に英語で紹介することができる	＜考えた施設をルカ先生に提案しよう＞ - 各班ごとに、校区地図を使い、地図に示された施設の場所まで道案内をする - 施設の図を使い、施設の名前や施設でできることについて紹介する	- 泉校区地図(新) 4時の模造紙(各班の施設)

〔本時の展開（3時間目）〕

ねらい		・両国共通の「課題」を乗り越えるための取組について知り、自分たちにできることは何かという視点で、課題解決のポイントを整理することができる	
過程・時	教師の働きかけ・発問および学習活動	指導上の留意点(支援)	資料
導入 (10分)	1 前時までの振り返りをしよう (1) どんな良さや課題があったかな ・日本とネパールの共通課題について「ゴミ問題」、日本ではさらに「食品ロス」についても問題になっていた (2) みんなの街の施設にも直接関わる問題は ・「ゴミ問題」「食品ロス」「エネルギー問題」を考えていくことが必要だ	・良さと課題について振り返ることで本時の学習問題につながるようにする ・取り上げる課題を整理することで本時で取り扱う環境問題に焦点化できるようにする	・前時までにまとめた表を提示 ・1/4 模造紙(各班) ・水性ペン(各班)
展開 (30分)	＜課題解決のポイントは？＞ 2 日本やネパールの環境問題解決の取り組みを知ろう (1) 日本ではどのように取り組んでいるのかな【ジグソー法】 ・「アルビス株式会社」・・・ゴミを減らす・出さない・エネルギー減 プラスチック使用量削減、廃棄物削減、リサイクル回収BOX、LED 照明、レジ袋使用量削減、マイバック・マイバスケット運動推進、リサイクル活動の推進 ・アルビスの取り組み方針(思いや願い) (2) ネパールではどのように取り組んでいるのかな 【ジグソー法】 ・「ラブグリーンネパール」・・・再利用・資源を活かす・無駄にしない・持続可能・循環型農業 植林、苗木育成、バイガス装置、IPM 農法、研修、溜池、家畜飼育支援、改良家畜小屋 ・ラブグリーン 鈴木さん ビルマさん(思いや願い) 【エピソードシート】 3 それぞれの国での取り組みから気づいたことをもとに課題解決のポイントを整理しよう 【ポップコーン方式】 ・植林(植物を植える)をする ・環境保全の情報を発信する ・ゴミを分別する、回収する ・エネルギーを使いすぎないものを選ぶ ・ゴミを減らす(ロス削減)	・「何のために」「どんな取り組みをしているのか」と問い整理させることで、必要な情報を探せるようにする ・人に着目させることで、取り組みだけでなく、人々の思いや願いに気づけるように資料を提示する ・自分たちでもできそうなことという視点で整理することで、自分事として考えられるようにする ・ワークシートに振り返りを書くことで、自分の思考を整理して伝えることができるようにする	・資料「環境報告書」(アルビス株式会社 HP)(8種類) ・資料「Love Green の活動」(Love Green Japan HP)(8種類) ・エピソードシート
終末 (5分)	4 今日の学習を振り返ろう ・各自の振り返りを書く ・グループ交流をする		
評価規準に基づく 本時の評価		・資料を通して、両国共通の「課題」を乗り越えるための取組について知り、それぞれの班で出し合った情報をもとに、課題解決に向けてのポイントを整理することができたか。 (発言・ワークシート振り返りより)	

〔総括・まとめ〕

学習方法および外部との連携	・参加型の手法を取り入れ、グループ活動時間を短く設定することで、児童は積極的に資料を読んだり、気づいたことを書き出したり、話し合ったりするようになった。 ・教師海外研修で撮影した写真、購入してきた実物を紹介することで、児童はネパールについて興味を持ち異文化に触れることを楽しんでいる様子が見られた。
学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取り組み	・校内若手研修での「開発教育指導者研修・海外研修・授業実践報告会(2023年12月5日)」 ・全校での人権教育の取り組み(2023年12月人権週間「友達いいところビンゴ」) ・全校へのネパール紹介クイズ(2023年9月12年生英語ST 3～6年授業【英語科】1時間)
苦労した点	・ネパールの良さと課題に気づかせるために写真を選ぶこと ・ネパールでの様子を自分事としてとらえさせるために、日本の生活に置き換えて考えられるようにする手立て ・児童に提示する資料の内容吟味
改善点	・提供した資料の情報量が多すぎたため、授業内で児童が十分に深め考えるところにまで至らなかった。元の資料をもとに、児童に伝わりやすいように、文言を平易なものに変えたり、種類を厳選したりすることで、児童自身がより深く思考できる授業になると考えられる。 ・英語科の単元の中に、道徳科として4時間を組み込む形で実施したが、考えた施設を英語で表現することをゴールにしたため、扱う表現が難しくなり、紹介する内容が制限され、考えた施設を十分に説明することができなかった。日本語で紹介するゴールにして他教科で実施し、紹介する相手を保護者や地域の方とすることで、児童が学んだ視点を共有できる構成にしていけたらよいと考える。
成果が出た点	・ネパールのことを知ることを通して、日本や自分たちの住んでいる地域のことについて考えるきっかけを与えることができ、自分事として考える児童の姿が見られた。 ・新たな施設を考案するという点では、考えることの難しさ以上に、こうなったらいいという児童の素直な思いを引き出すことができた。 ・4時間を通して、児童同士が自ら話し合おうとする姿が見られるようになってきた。
学びの軌跡 (児童生徒の反応、感想文、作文、ノートなど)	＜児童の振り返り抜粋＞ ・第1時・・・日本のいいところもネパールのいいところもたくさんあるので他の国もいいところはたくさんあるのかなと思いました。 ・第2時・・・全然知らなかったことが問題になったり課題になっていることが分かりました。自分も人ごとだと思わないようにしたいです。ネパールも日本もゴミの問題が深刻で、もしかしたら世界でもゴミは問題ではないのかなと思いました。 ・第3時・・・日本は二酸化炭素をたくさん使ってるので、太陽電池や水力発電、風力発電を使うことが大切だと思いました。次はポイントを使って創りたい建物を考えたいです。 ・第4時・・・色々な案を出し合い、最終的に緑をイメージした二酸化炭素を出さないようにする建物の案ができました。プラスチックの削減も取り入れました。 ・第5時・・・今までのことを生かしてうまく言えました。自信をもってルカ先生に話すことができました。ルカ先生のように話せるように英語を磨いていきたいと思いました。
授業者による自由記述	・児童に英語を学ぶ意義について考えられる授業作りをしたいと考え、教師海外研修に参加した。日本に戻り、授業を考える中で、児童自身が英語を使って楽しかった、伝わったという経験を増やしていくことで、学ぶ意義以上に、学びたいにつながられる授業作りをしていくことが大切だと、改めて考えさせられた。今回の単元では、英語を使っている部分では不十分だったが、ネパールや日本の現状を知っていくことで、世界に興味を持たせることも非常に大切だと感じた。世界に興味を持てれば、必然的に英語に触れる機会が増え、英語を使うことを通して世界の問題を解決していくことにつながると気づかせることができるからだ。英語に特化するのではなく、さまざまな教科との兼ね合いで児童の学びが促されており、そのつながりを教師自身が把握し、児童と学びをつないでいくことが必要であると考えた。
単元構想・実施における参考資料等	・「やさしい英語でSDGs!」(合同出版)・「環境報告書」(アルビス株式会社 HP) ・「Love Greenの活動」(Love Green Japan HP)・ネパールの写真(16種類) ・エピソードシート・泉校区地図

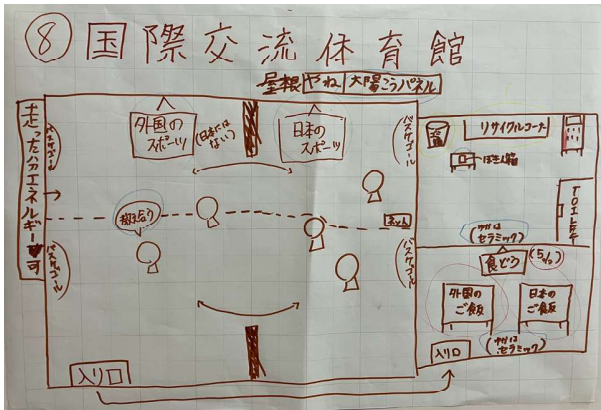
[学びの軌跡 (児童生徒の反応、感想文、作文、ノートなど)]



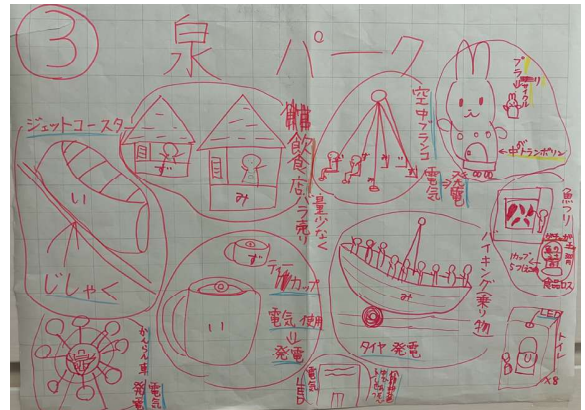
資料を見ながら内容を話し合っている様子(第3時)



ポイントを踏まえた施設を考えている様子(第4時)



児童の考えた施設1



児童の考えた施設2

English version		☆☆☆☆	自分の力で、つむでできる
		☆☆☆	自分の力で、つむでできる
		☆☆	友達や先生といっしょならでできる
		☆	もう少し練習や努力が必要
Unit 5	Unit Goal	みんなが暮らしやすいIzumi New TownをALTに提案しよう！	
Today's Goal	Today's Review	9月3日	
1	1 達成度 ☆☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆	2 気づき・学び	
道案内の言い方を	2 気づき・学び	今まで学んだことをしっかりと思い出せました。	
3 次への課題	3 次への課題	次は、今までのことを生かして新しいことを学びたいです。	
3	1 達成度 ☆☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆	2 気づき・学び	
建物や位置の言い方、道案内の言い方	2 気づき・学び	地図を見て道を考えることができました。	
5	1 達成度 ☆☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆	2 気づき・学び	
位置や道案内を正確に伝えられるようにしたい	2 気づき・学び	ブロックとコーナの使い方をしっかりと使っています。	
7	1 達成度 ☆☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆	2 気づき・学び	
ALTに依る紹介をしよう。	2 気づき・学び	自分はコンビニの前を言うだけで、全然でいいところがあるので、コンビニをしっかりと使っています。	
9	1 達成度 ☆☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆	2 気づき・学び	
10	1 達成度 ☆☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆	2 気づき・学び	
	3 次への課題	自分たちはコンビニの前を言うだけで、全然でいいところがあるので、コンビニをしっかりと使っています。	
	3 次への課題	自分たちはコンビニの前を言うだけで、全然でいいところがあるので、コンビニをしっかりと使っています。	

振り返りワークシート(表面 英語科用)

Nepal and Japan version		☆☆☆☆	自分の力で、つむでできる
		☆☆☆	自分の力で、つむでできる
		☆☆	友達や先生といっしょならでできる
		☆	もう少し練習や努力が必要
Unit 5	Unit Goal	みんなが暮らしやすいIzumi New TownをALTに提案しよう！	
Today's Goal	Today's Review	9月5日	
2	1 達成度 ☆☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆	2 気づき・学び	
日本やネパールの違い	2 気づき・学び	ネパールは、ネパールで日本とはちがうよ。	
3 次への課題	3 次への課題	がありました。1枚の写真からみんなのことを知ることができました。	
4	1 達成度 ☆☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆	2 気づき・学び	
日本やネパールの違い	2 気づき・学び	今まで自分はあまりニュースなどを見ず、たって問題など分からなかった。これを	
6	1 達成度 ☆☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆	2 気づき・学び	
3つのことをいけるようにしたい	2 気づき・学び	日本とネパールでそれぞれ課題に対して考えていることが分かりました。なので、私は	
8	1 達成度 ☆☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆	2 気づき・学び	
日本やネパールの違い	2 気づき・学び	私は、コンビニのこうどうなどを考えて、本当のコンビニにもあるものがたいはなかった。日本がもんだいとかいってしようとしていることがよく分かりました。今日考えたことを英語でいえるようにしたいです。	

振り返りワークシート(裏面 道徳科用)